2024 年 8 月 6 日 発行

1.化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Wick FR-551 ノークリーン ハロゲンフリー
品番	:	FR551-1515-J, FR551-2015-J, FR551-2515-J FR551-3015-J, FR551-5015-J, FR551-20250-J FR551-25250-J, FR551-30250-J
会社名	:	白光株式会社
住所	:	大阪市浪速区塩草 2 丁目 4 番 5 号
担当部門	:	営業部
電話番号	:	06-6561-1574
FAX 番号	:	06-6568-0821
メールアドレス	:	cs@hakko.com
推奨用途及び使用上の制限	:	はんだ吸取り線 推奨用途以外へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	:	分類できない
可燃性ガス	:	区分に該当しない（分類対象外）
エアゾール	:	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性ガス	:	区分に該当しない（分類対象外）
高圧ガス	:	区分に該当しない（分類対象外）
引火性液体	:	区分に該当しない（分類対象外）
可燃性固体	:	分類できない
自己反応性化学品	:	分類できない
自然発火性液体	:	区分に該当しない（分類対象外）
自然発火性固体	:	分類できない
自己発熱性化学品	:	分類できない
水反応可燃性化学品	:	分類できない
酸化性液体	:	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性固体	:	分類できない
有機過酸化物	:	分類できない
金属腐食性物質	:	分類できない
鈍性化爆発物	:	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	:	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	:	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	分類できない
呼吸器感作性	:	区分 1
皮膚感作性	:	区分 1
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
生殖毒性・授乳影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	区分 1（消化器） 区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性　短期（急性）	:	分類できない
水生環境有害性　長期（慢性）	:	分類できない
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
吸入すると有害(H332)
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ(H334)
呼吸器への刺激のおそれ(H335)
消化器の障害(H370)

注意書き

安全対策 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後は顔や手、ばく露した皮膚をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置 : 皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物／容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : Wick

成分及び濃度又は濃度範囲

化学名または一般名	含有量（wt%）	CAS 番号
銅	95~97%	7440-50-8
ロジン	3~5%	社外秘

※含有量の範囲表示については営業機密

法規制対象成分

成分	安衛法	PRTR 法
銅	表示・通知対象物	指定化学物質に該当しない
ロジン	表示・通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

4.応急措置

吸入した場合 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

		呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	:	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	:	眼に入った場合、水で 15 分以上注意深く洗うこと。 もしコンタクトを装着していて、容易に取外せる場合は取外すこと。 その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当を受ける必要がある。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。 ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	個人用保護具を着用すること。

5.火災時の措置

適切な消火剤	:	粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、砂を使用する。
使ってはならない消火剤	:	棒状放水。
火災時の特有の危険有害性	:	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生させるおそれがある。
特有の消火方法	:	消火作業は可能な限り風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置	:	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	:	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	:	環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8.暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。
使用後は容器を密閉する。

接触回避 : アルカリ性物質、強酸化剤との接触を避ける。

衛生対策 : 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。ヒュームを吸入しないこと。
個人用保護具を着用すること。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件 : 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

避けるべき保管条件 : アルカリ類、強酸化剤と接触させない。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン。

8.ばく露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会	設定されていない	
ACGIH	銅（フューム）：0.2mg/m^3 銅（粉じん・ミスト）：1mg/m^3	TWA

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具 : 防じんマスク。

手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具 : 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着。

特別な注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9.物理的及び化学的性質

物理状態	:	ロジンでコーティングされた銅網線
色	:	銅色
臭い	:	データなし
融点・凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	:	データなし
可燃性	:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:	データなし
引火点	:	データなし
自然発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし
その他のデータ	:	湿潤条件下に長時間放置すると、銅は酸化することがある。

10.安定性及び反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	:	通常の処理ではなし。
避けるべき条件	:	混触危険物質との接触。直射日光、高温
混触危険物質	:	アルカリ類、酸化剤
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素、二酸化炭素

11.有害性情報

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	:	区分に該当しない（GHS 定義による気体ではない）
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	:	H332 吸入すると有害
皮膚腐食性／刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	分類できない

呼吸器感作性	:	H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	:	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
生殖毒性・授乳影響	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	H370 消化器の障害, H335 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	:	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	:	分類できない
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	分類できない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。廃棄されるウイックには、はんだが含まれており、はんだはその環境条件により溶出する可能性があるので、注意することが必要。
汚染容器・包装	:	使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号	:	分類基準に該当しない
品名	:	分類基準に該当しない
国連分類	:	分類基準に該当しない
容器等級	:	分類基準に該当しない
国内規制	:	一般的な注意事項を遵守すること。

15.適用法令

労働安全衛生法	:	【名称等を通知すべき危険物及び有害物】 銅及びその化合物：令別表第 9 の 379（令和 7 年 3 月 31 日以前） 令別表第 9 の 22（令和 7 年 4 月 1 日以降） 【皮膚刺激性有害物質】 銅
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 中環審第 9 次答申(別表 1)の 128（銅及びその化合物）
水質汚濁防止法	:	指定物質 政令第 3 条の 3 第 53 号（銅及びその化合物）

16.その他の情報

出典　　製造業者の SDS。

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠して作成しております。本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

改訂履歴

改訂日	内容
2024 年 8 月 6 日	初版発行。